

受注企業動向調査結果

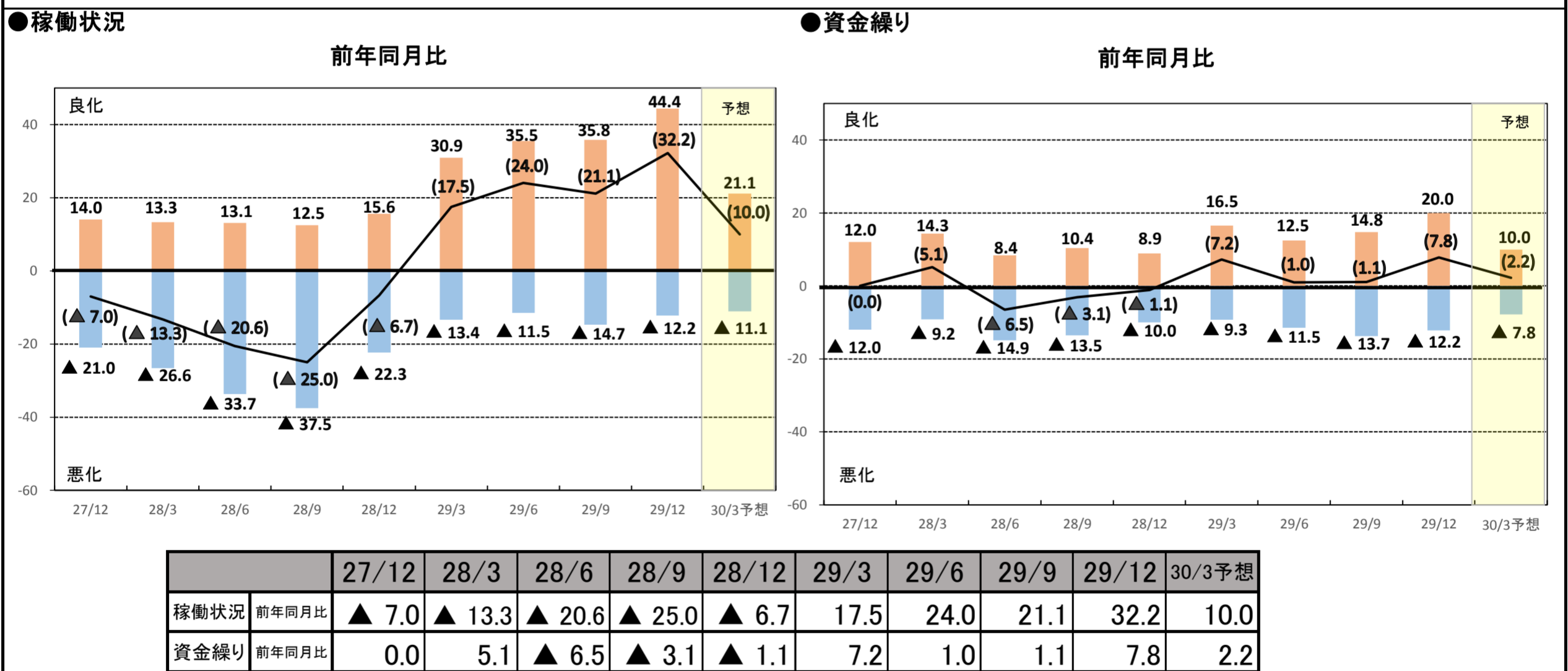
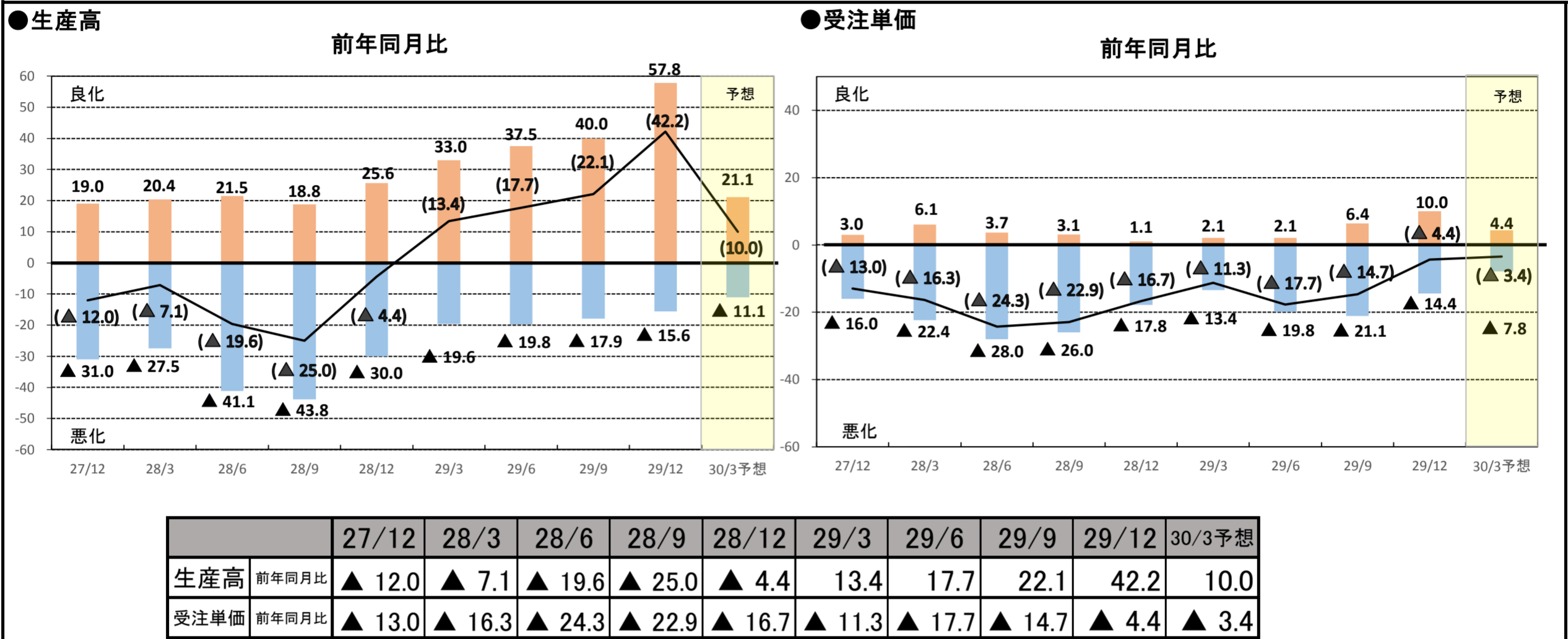
-2018.1-

- 調査時点 平成29年12月調査(平成29年12月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業90社(回答率:60.0%)

<業種内訳>

プラスチック	8社
鉄鋼・非鉄	6社
金属製品	19社
一般機械器具	18社
電気機器	17社
輸送用機器	7社
精密機器	10社
縫製	5社
計	90社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)DIは42.2で前回の22.1から20.1ポイント増で大幅良化となった。
- ・受注単価(前年同月比)DIは▲4.4で前回の▲14.7から10.3ポイント増で大幅良化となった。
- ・稼働状況(前年同月比)DIは32.2で前回の21.1から11.1ポイント増の大幅良化となった。
- ・資金繰り(前年同月比)DIは7.8で前回の1.1から6.7ポイント増で良化となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が10.0で32.2ポイント減の大幅悪化、受注単価は▲3.4で1.0ポイント増の横ばい、稼働状況が10.0で22.2ポイント減の大幅悪化、資金繰りは2.2で5.6ポイント減の悪化という予想になった。
- ・その他自由意見として、人手不足、人件費の上昇、仕入れ単価の上昇等、今後を不安視する声が多い。